

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

長橋小	学校	児童数	25
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.75	17.00	25.67	34.75	42.00	10.46	138.58	16.92	43.83
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.92	19.54	31.46	36.77	36.23	10.16	143.69	14.62	51.38
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

今年度本校としては反復横とびの数値向上を目標に掲げ取り組んでいったが、男子は大阪市・全国平均を上回ることができなかった。女子は全国平均を上回ることができなかったが、大阪市平均を上回ることができた。本校児童が長年苦手としていた敏捷性について、少しずつ改善は見られるが、引き続き取り組んでいく必要があると考える。

体力合計点について、男子は大阪市・全国平均よりも大きく下回り、女子はほぼ大阪市平均となった。男子は全ての種目で、大阪市・全国平均を下回り、女子は上体起こしとソフトボール投げは大阪市・全国平均を上回った。

男子・女子ともに「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対しては肯定的な回答が90%を超えているものの、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子で27%と全国平均（9%）の約3倍、女子で15.4%と全国平均（16.3%）となっている。運動に親しませる取り組みを今後も実施していく課題を残した。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、学期に1回程度、体力向上推進週間を設け、運動の楽しさを味わわせ、自身の体力に興味・関心をもつとともに進んで体力づくりに取り組ませることを行った。また、がんばりカードの活用を積極的に行った。目標を立てて運動し自己の運動能力・体力の向上を視覚的に実感できるようにした。しかし、結果があまり伴っていないことは残念であった。

今後もトップアスリート派遣を通じなど、運動の質を高めるために専門的なトレーニング方法や身につけたい能力にターゲットを絞った運動を取り入れることも視野に入れ、実践を重ねたい。児童のやる気を引き出す体育授業のさらなる工夫や日常的に運動に親しみもてるような外遊びの工夫、室内での運動環境の充実に取り組んでいきたい。